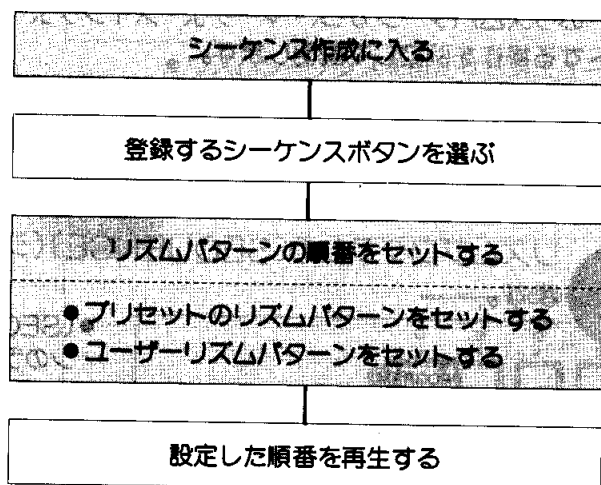


リズムプログラム(シーケンス)について

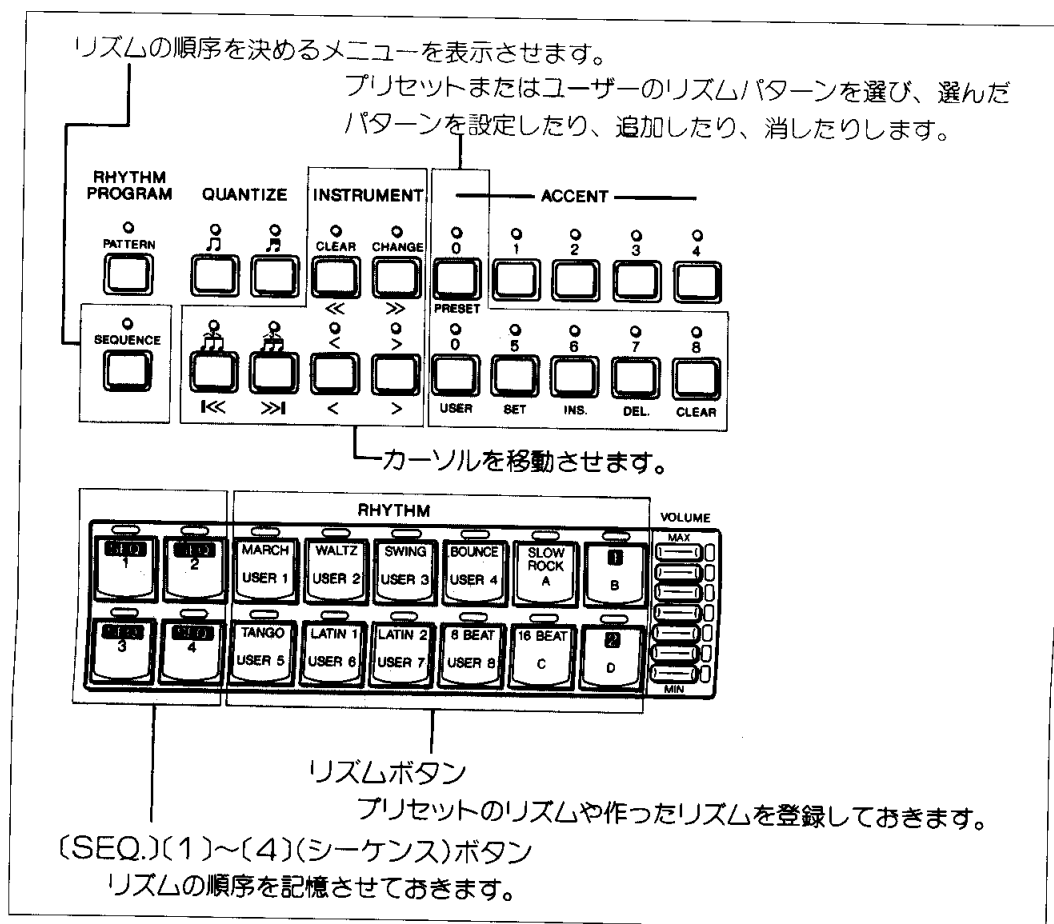
機能説明

リズムプログラムのシーケンスとは、EL-50に用意されているリズムパターン（プリセット）、またはリズムプログラムで作ったユーザーリズムパターンの再生順序を設定することができる機能です。プリセットのリズムパターンまたはユーザーリズムパターンの順序は、最大120小節分まで登録できます。

■基本的な操作の流れ



■リズムプログラム(シーケンス)で使うボタン



リズムの順序を決める(シーケンス)

機能説明

リズムプログラムシーケンスでは、120小節分を、〔SEQ.〕(シーケンス) ボタン〔1〕～〔4〕それぞれに記憶することができます。

設定する方法として、プリセットのリズムパターンとリズムプログラムで作ったユーザーリズムパターンの順序を設定する操作の2つがあります。

操作の途中で、間違えて入力した場合は、P124の操作を行ってください。

操作方法

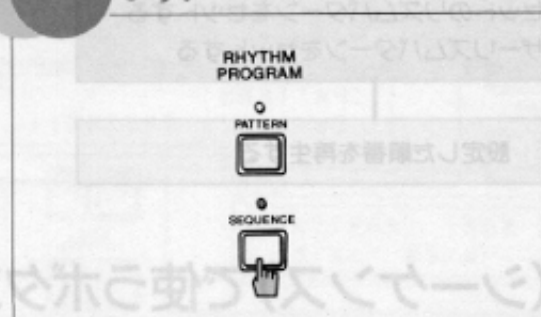
プリセットパターンの順番をセットする場合

プリセットのリズムパターンから、「マーチ」、「スイング」、「8 BEAT」の順番で2小節ずつセットする操作を例にして説明します。

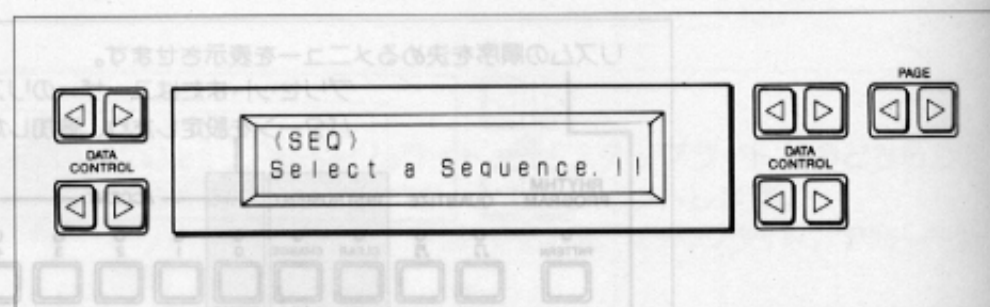
それぞれのリズムには、あらかじめセットしたいリズム(例えば、スイングの「Swing 2」、8ビートの「8 Beat 2」など)を設定しておいてください。

1

リズムプログラムの〔SEQUENCE〕(シーケンス) ボタンを押します。



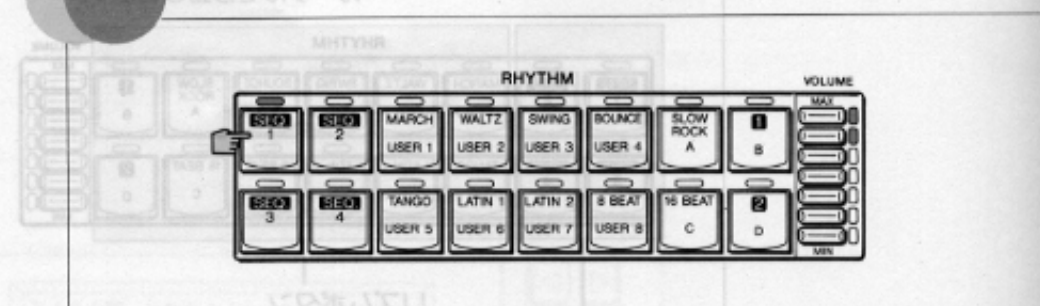
- 〔SEQUENCE〕(シーケンス) ボタンのランプが点灯します。



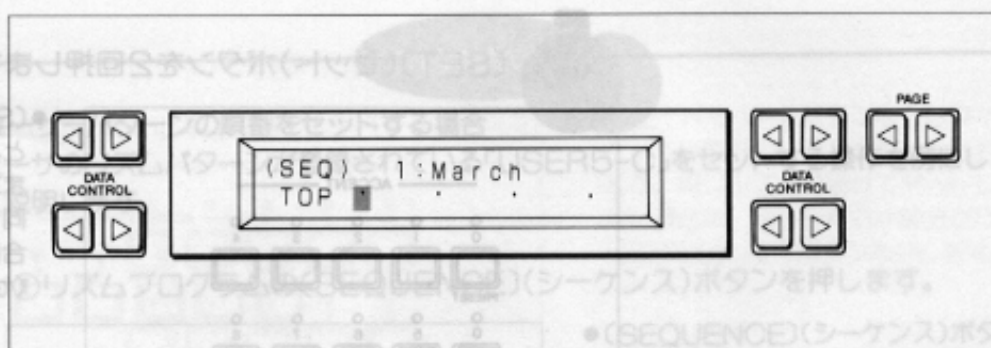
- 記憶させる〔SEQ.〕(シーケンス) ボタンを指定するメニューが表示されます。
- このとき、1～4の〔SEQ.〕(シーケンス) ボタンの全部のランプが点滅します。

2

リズムの〔SEQ 1〕(シーケンス1) ボタンを押します。



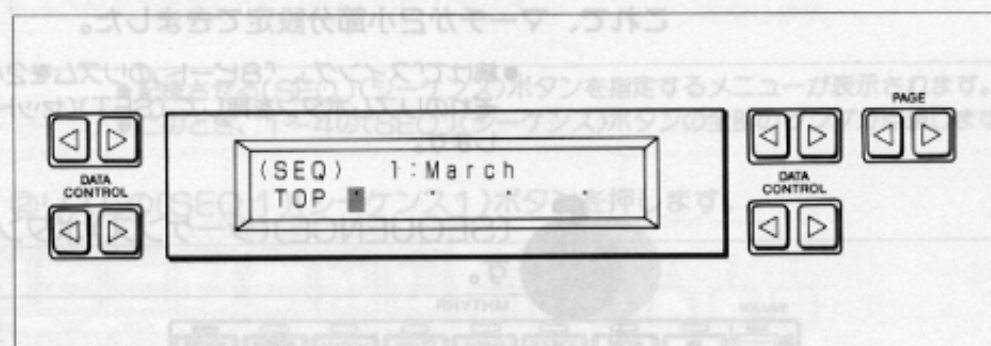
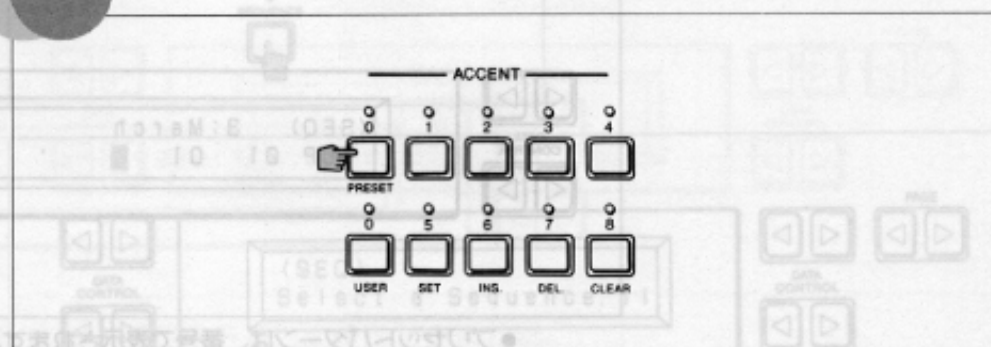
- 〔SEQ 1〕のランプが点灯します。



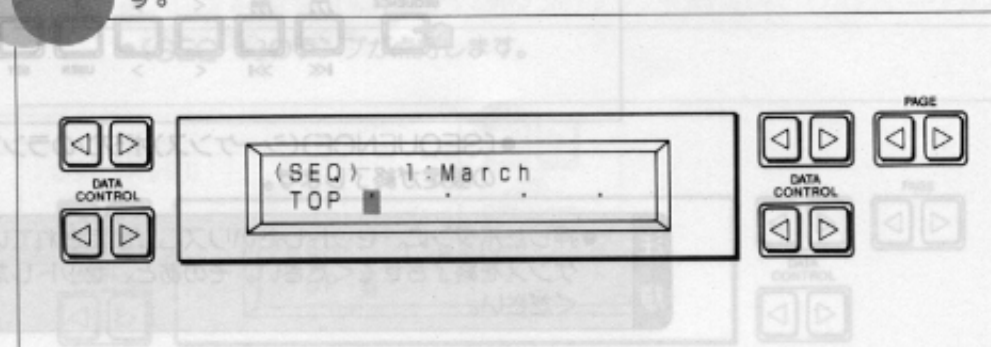
•リズムシーケンスを設定するメニューが表示されます。



(PRESET)(プリセット)ボタンを押します。

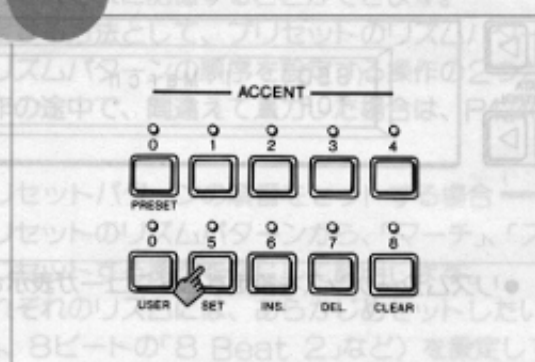


リズムの(MARCH)(マーチ)が表示されていることを確認します。

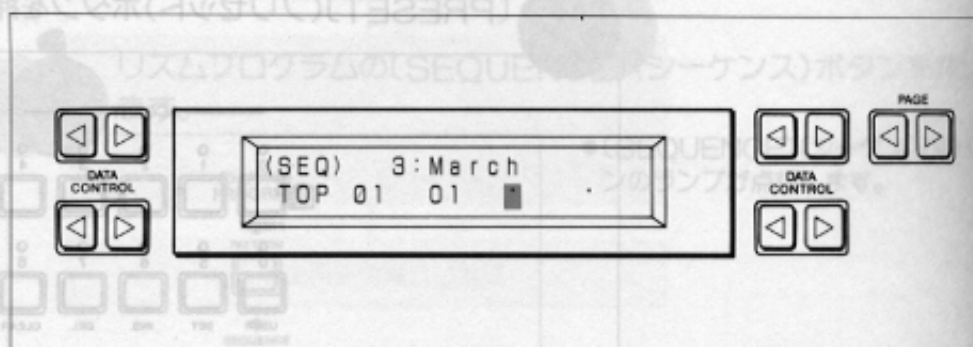


5

(SET)(セット)ボタンを2回押します。



- (SET)(セット) ボタンを1回押すと、1小節分のリズムがセットされます。同じリズムを続けてセットしたい場合は、セットする小節分だけ(SET)(セット)ボタンを押します。

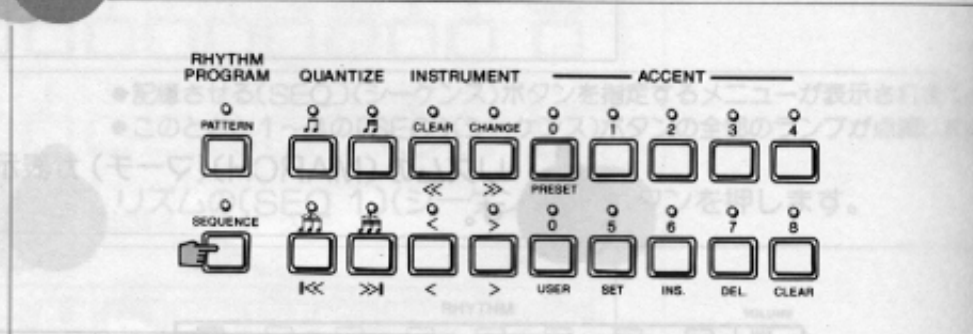


- プリセットパターンは、番号で表示されます。P126の表を参照してください。
- これで、マーチが2小節分設定できました。

- 続けて「スイング」「8ビート」のリズムを2小節分ずつ設定する場合は、それぞれのリズムボタンを押して、(SET)(セット)ボタンを2回押す操作を繰り返します。

6

(SEQUENCE)(シーケンス)ボタンを押して、設定を終了します。



- (SEQUENCE)(シーケンス)ボタンのランプが消灯して、リズムシーケンスの設定が終了します。

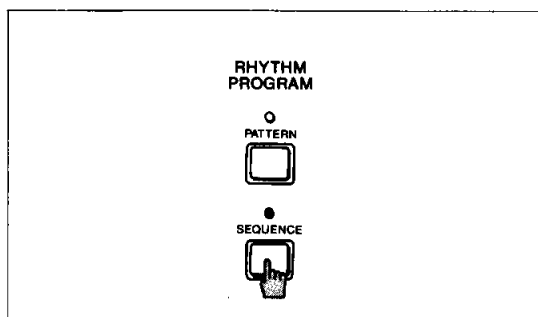
注意

- 押したボタンに、セットしたいリズムが設定されていない場合は、一度リズムシーケンスを終了させてください。そのあと、セットしたいリズムをボタンに設定してください。

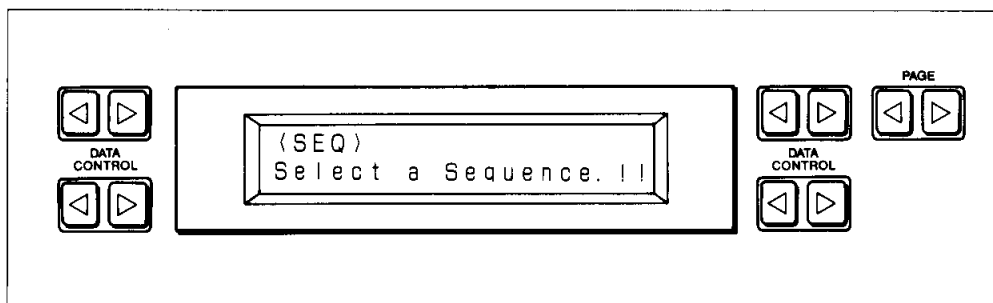
○ユーザーパターンの順番をセットする場合

ユーザのリズムパターンが登録されている「USER5-C」をセットする操作を例にして説明します。

①リズムプログラムの〔SEQUENCE〕(シーケンス)ボタンを押します。

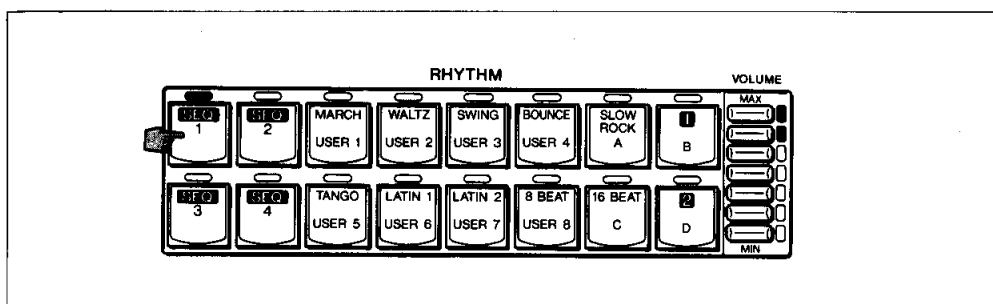


- 〔SEQUENCE〕(シーケンス)ボタンのランプが点灯します。

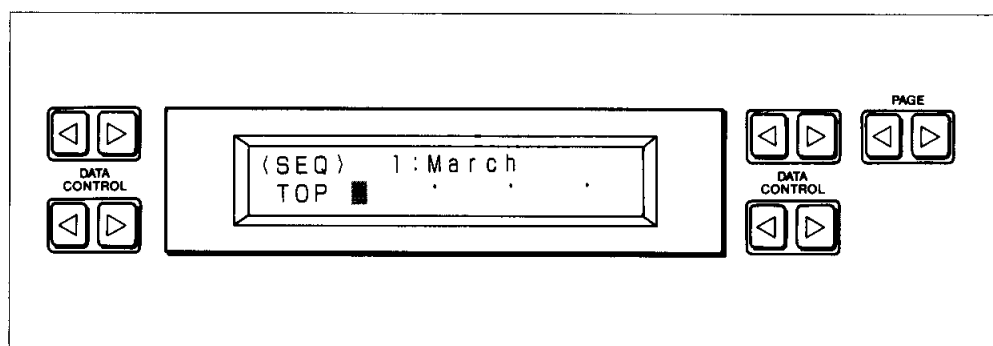


- 記憶させる〔SEQ.〕(シーケンス)ボタンを指定するメニューが表示されます。
- このとき、1～4の〔SEQ.〕(シーケンス)ボタンの全部のランプが点滅します。

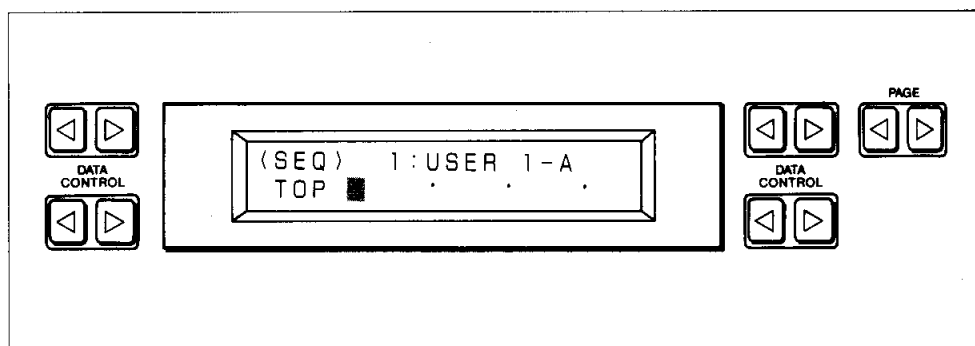
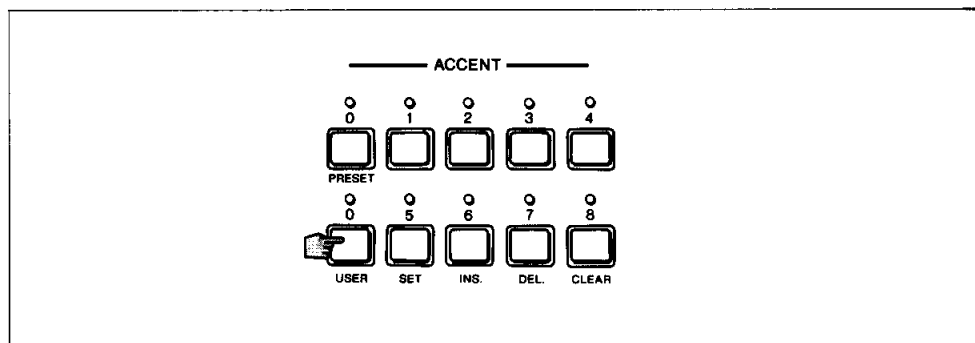
②リズムの〔SEQ 1〕(シーケンス1)ボタンを押します。



- 〔SEQ 1〕のランプが点灯します。

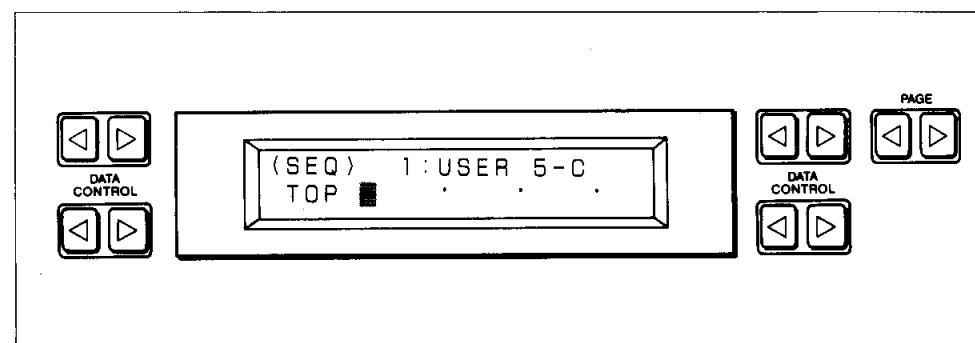
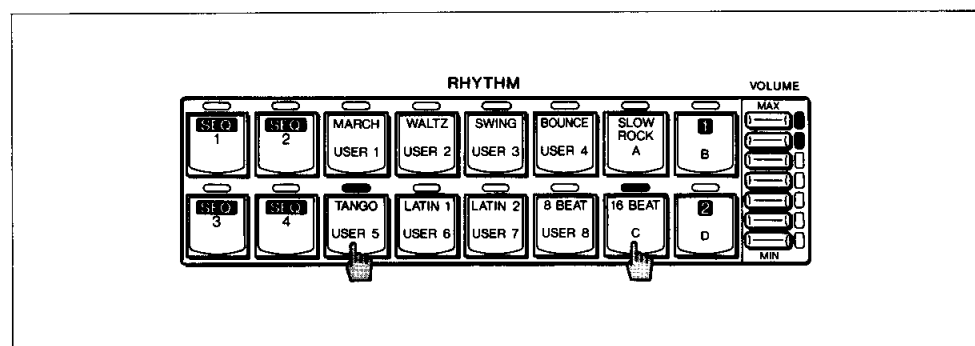


③ (USER) (ユーザー) ボタンを押します。



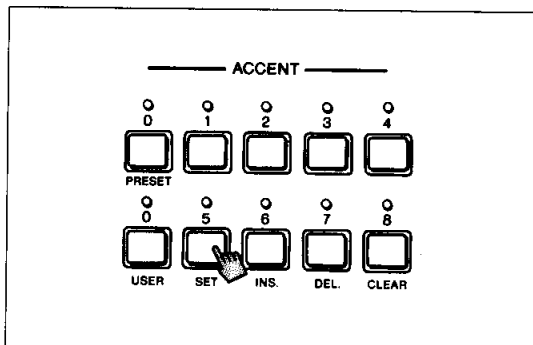
●ユーザーのリズムパターンを設定するメニューが表示されます。

④ リズムの (USER 5) (ユーザー-5) ボタンと (C) ボタンを押します。

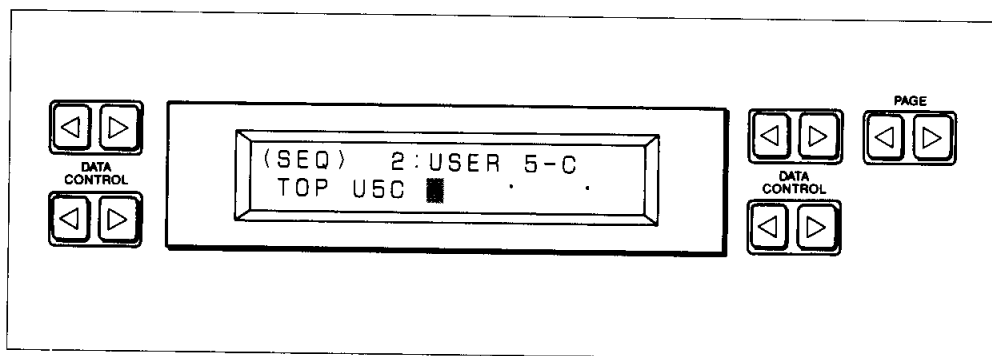


●ユーザーを設定する状態になると、リズムボタンの下段の表示を使うことができます。

⑥〔SET〕(セット)ボタンを押します。



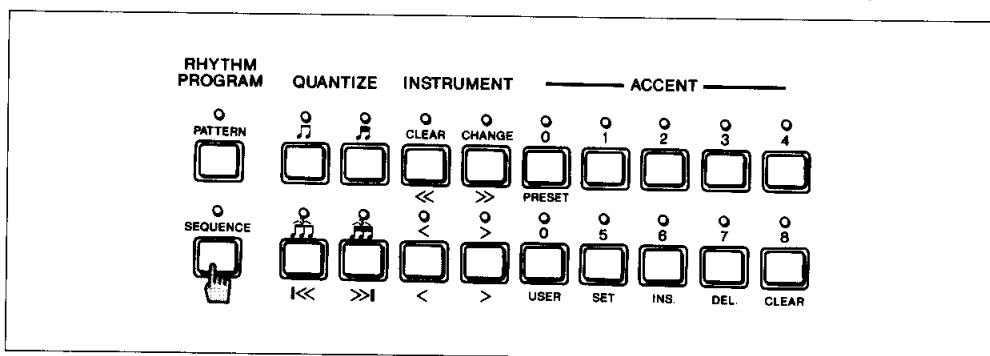
- 〔SET〕(セット) ボタンを1回押すと、1小節分のリズムがセットされます。同じリズムを続けてセットしたい場合は、セットする小節分だけ〔SET〕(セット)ボタンを押します。



これで、「USER5-C」が設定できました。

- 続けてセットする場合は、〔SET〕(セット)ボタンを押します。

⑥〔SEQUENCE〕(シーケンス)ボタンを押して、設定を終了します。

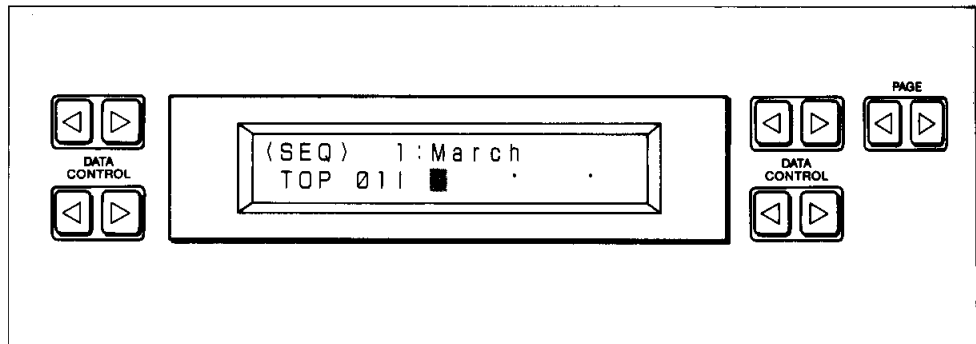
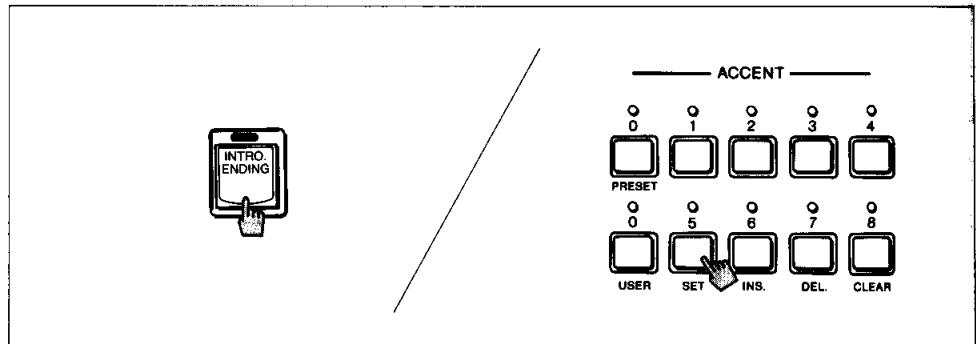


- 〔SEQUENCE〕(シーケンス)ボタンのランプが消灯して、リズムシーケンスの設定が終了します。

リズムの順序を決める

- ドットボタンを使って、ユーザーパターンをセットすることができます。あらかじめドットにユーザーパターンを登録しておく、プリセットパターンをセットする方法と同様に、ドットボタンを押すだけで、ユーザーパターンがセットできます。
- 現在設定中のリズムをバリエーションとして設定することができます。設定できるバリエーションには、イントロ、エンディング、フィルインがあります。
ここでは、設定中のリズムをイントロに設定する操作を例にして、説明します。

〔イントロ/エンディング〕ボタンを押しながら、〔SET〕(セット)ボタンを押します。



- イントロの「1」が表示されます。
「1」はイントロ、「E」はエンディング、「F」はフィルインを示しています。
- パターンは、全部で120小節分までセットできます。

注意

- エンディングが入力されると、エンディングより後のパターンは消されます。

設定した順序でリズムを再生する

再生するには、登録済みの(SEQ 1)(シーケンス1)ボタンを押します。



●(SEQ 1)(シーケンス1)ボタンに登録されているリズムが再生されます。

(START)(スタート)を押します。



●リズムがスタートすると、シーケンスに登録されているリズムパターンが順番に再生され、最後の設定が再生されるとリズムはストップします。

♪ 操作のポイント

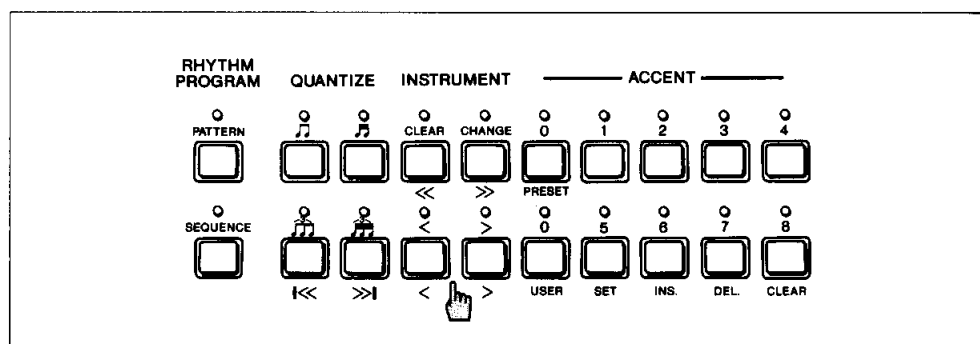
- (SEQ.)(シーケンス)ボタン(1)~(4)に設定した内容を、連続して再生することが出来ます。リズムをスタートさせる前に、あらかじめ再生したいシーケンスボタンをすべて押しておいてください。

こんなこともできる

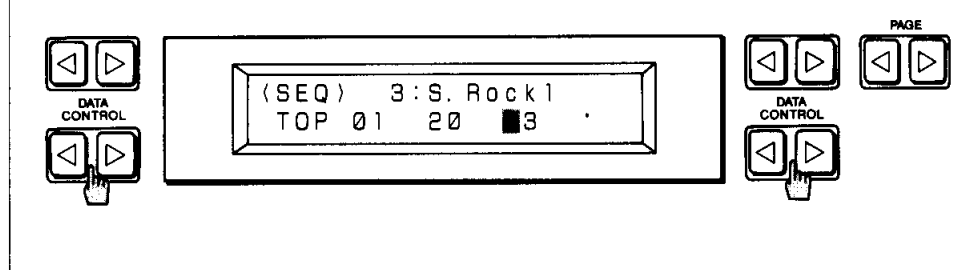
○ 設定している途中で、パターンを付け加えたり、不要なパターンを削除したり、入力したパターンを全て消去することができます。

○ 途中でパターンを付け加えたい場合(インサート：部分挿入)

① データコントロールボタン〔◀〕〔▶〕または〔<〕〔>〕ボタンを押して、付け加えたいパターンにカーソルを移動させます。



ex. 3小節目にインサート(部分挿入)したい場合は、3小節目にカーソルを移動します。

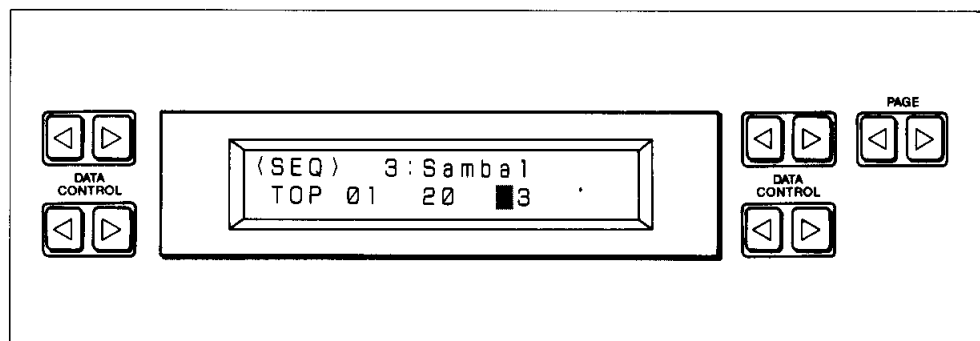


- (◀)(▶)ボタンは、10/パターン移動します。
- (◀◀)ボタンは、シーケンスの先頭に移動します。
- (▶▶)ボタンは、シーケンスの最後に移動します。

② 付け加えたいリズムのボタンを押して、パターンをセットします。

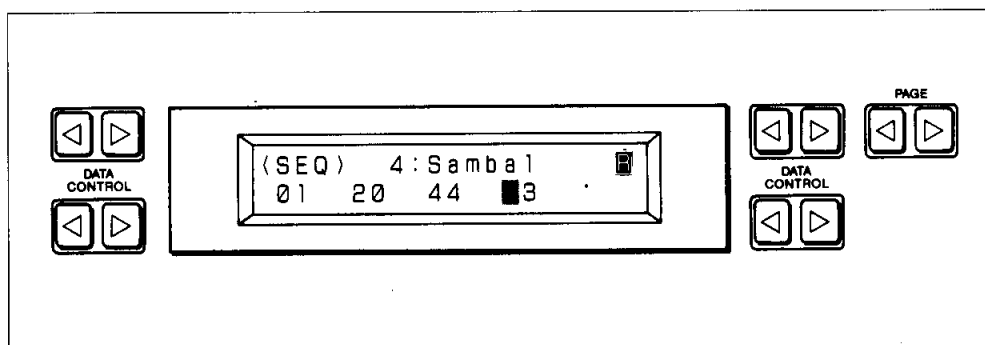
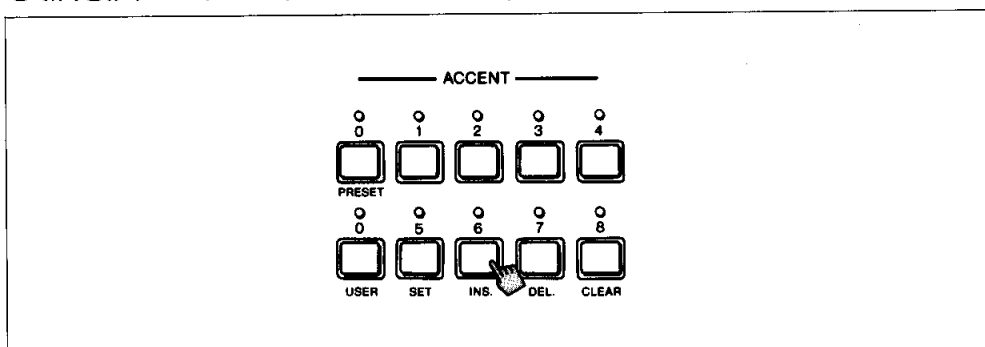
例として、サンバを挿入してみましょう。

パネルの〔LATIN 2〕(ラテン2)ボタンを押します。



- 押したボタンのランプが点灯します。
- プリセットパターンは、番号で表示されます。
P126の表を参照してください。
- すでに、イントロがセットされている前にリズムを付け加えると、イントロが、通常のリズムになります。

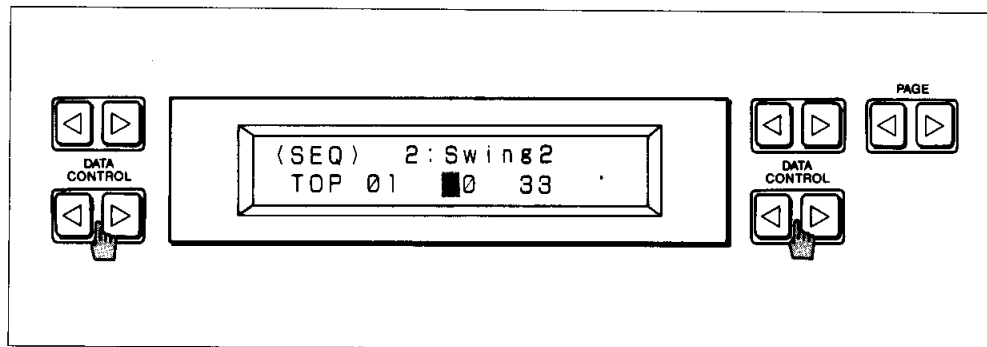
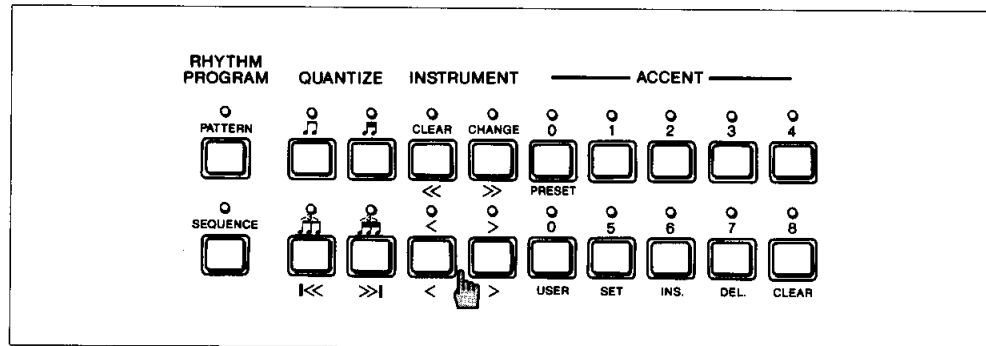
③〔INS.〕(インサート)ボタンを押します。



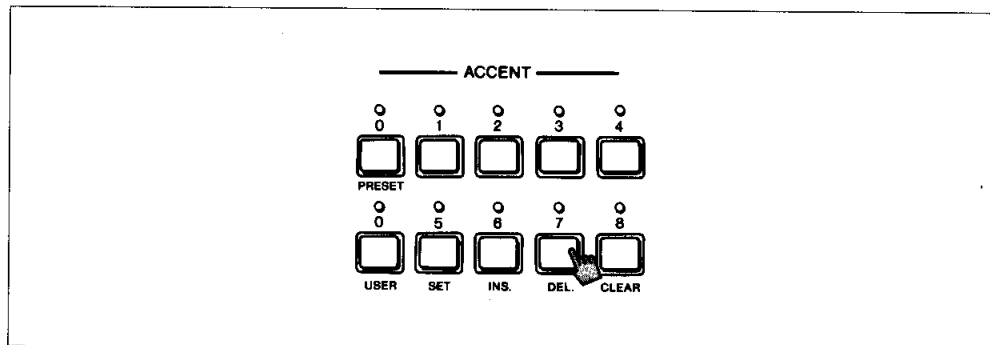
リズムの順序を決める

○不要なパターンを削除したい場合(デリート：部分削除)

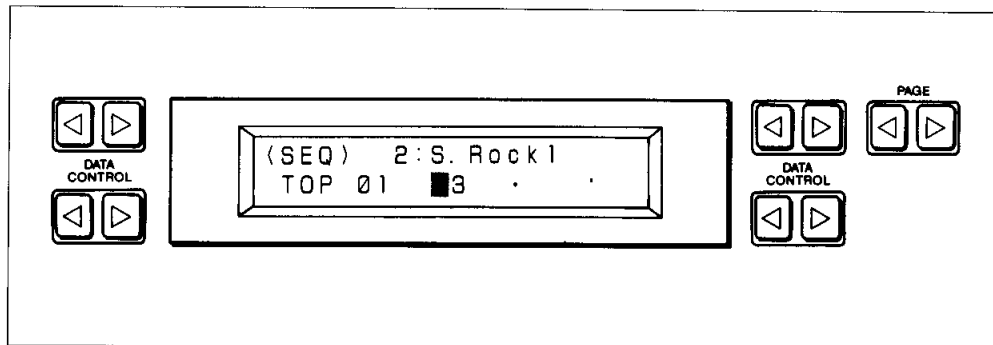
①データコントロールボタン[◀][▶]または[<][>]ボタンを押して、消したいパターンにカーソルを移動させます。



②[DEL.] (デリート) ボタンを押します。

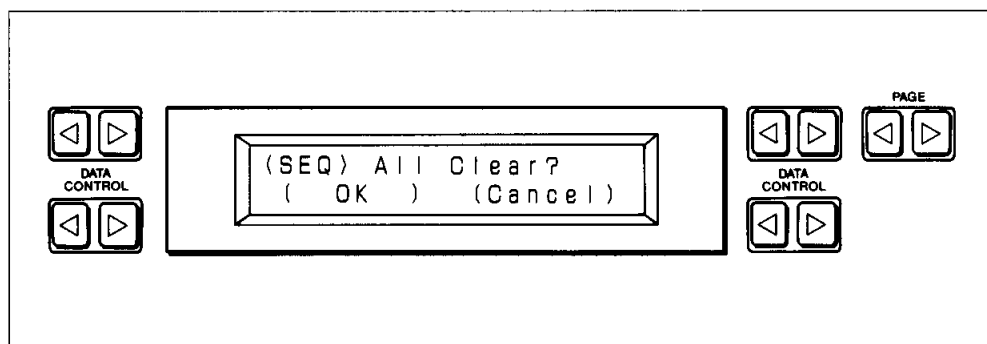
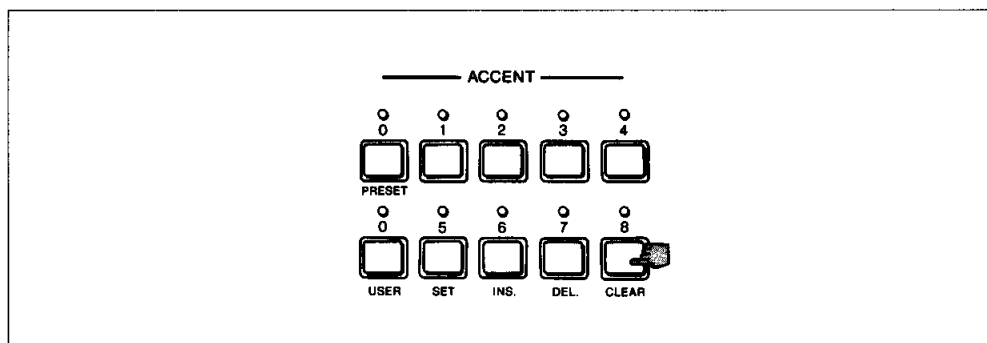


●指定したパターンが消され、次の設定が詰められます。



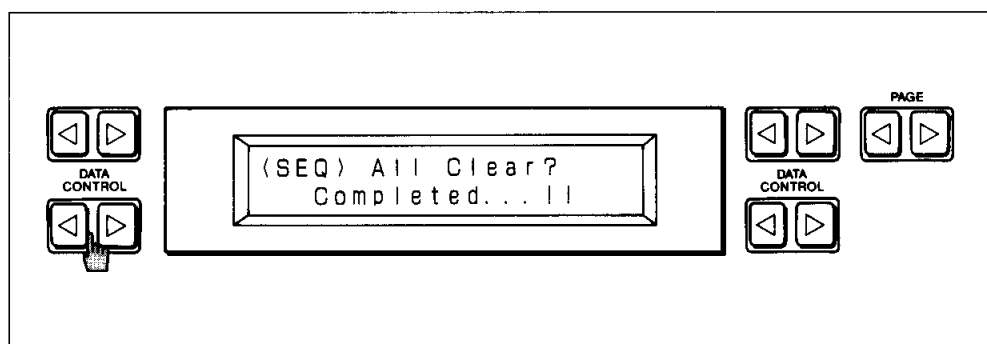
○ 設定したシーケンスを全て削除したい場合(クリアー：一括削除)

① (CLEAR)(クリア)ボタンを押します。



● 入力したデータを消去する前に、確認のメニューが表示されます。

② 左下のデータコントロールボタン(<)(>)を押します。



EL-50をお買い求めになったときと同じ設定に戻すことができます。

P139の「パワーオン・リセット」をご覧ください。

○リズム/パターンに表示される番号について

セットされたリズム/パターンは、数字で表示され、番号とリズム名は次の通りです。

ユーザー/パターンは、例えば「U1A」(ユーザー1)と表示されます。これは、「U」がユーザーで数字がユーザー番号、「A」はバリエーションの意味です。

また、イントロ：「I」、フィルイン：「F」、エンディング：「E」と表示されます。

リズム名(プリセットパターン)とリズム/パターンで表示される番号

番号	リズム名	番号	リズム名
01	March (マーチ)	36	Tango 1 (タンゴ1)
04	Polka (ポルカ)	37	Tango 2 (タンゴ2)
06	Country (カントリー)	38	Tango 3 (タンゴ3)
08	Broadway (ブロードウェイ)	39	Cha-Cha (チャチャ)
10	Waltz 1 (ワルツ1)	40	Rhumba (ルンバ)
11	Waltz 2 (ワルツ2)	41	Beguine (ビギン)
15	Jazz Waltz (ジャズワルツ)	42	Mambo (マンボ)
18	Bolero (ボレロ)	44	Samba 1 (サンバ1)
19	Swing 1 (スイング1)	45	Samba 2 (サンバ2)
20	Swing 2 (スイング2)	47	Bossanova 1 (ボサノバ1)
25	Jazz Ballad (ジャズバラード)	48	Bossanova 2 (ボサノバ2)
26	Dixieland (ディキシーランド1)	50	8 Beat 1 (8ビート1)
28	Bounce 1 (バウンス1)	51	8 Beat 2 (8ビート2)
29	Bounce 2 (バウンス2)	52	8 Beat 3 (8ビート3)
31	Reggae 1 (レゲエ1)	55	Dance Pop (ダンスポップ)
32	Reggae 2 (レゲエ2)	59	16 Beat 1 (16ビート1)
33	Slow Rock 1 (スローロック1)	60	16 Beat 2 (16ビート2)
34	Slow Rock 2 (スローロック2)	61	16 Beat 3 (16ビート3)
35	Slow Rock 3 (スローロック3)	64	16 Beat Funk (16ビートファンク)

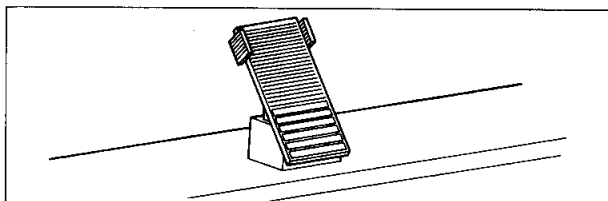
注 意

- シーケンスを再生している間は、リズム/パターン、フィルイン、エンディング、バリエーションは変更できません。
- シーケンスを再生している間に、リズムプログラムの(PATTERN)(パターン)をタンを押すと、現在再生されているリズムはストップします。
- イントロ、エンディング/パターンを再生している間は、下鍵盤の音色は発音されません。

フットスイッチについて

機能説明

フットスイッチとは、EL-50の足元にあるエクスプレッションペダルの左右についているスイッチのことです。



この左右のフットスイッチを使って、次のことができます。

スイッチ	ボタン名	モード名	機能説明
右フットスイッチ	(REGIST SHIFT) (レジストシフト)	シフト	①～⑥の番号順にレジストレーションを呼び出します。
		ユーザー	①～⑥の中で、指定した番号順にレジストレーションを呼び出します。
左フットスイッチ	(FOOT SWITCH) (フットスイッチ)	リズム(ストップ/エンディング/フィルイン)	3つの中から指定したモードの機能を実行できます。
		グライド (リード/アッパー/ロー)	指定した音色群にグライド効果をかけることができます。

レジストシフト

機能説明

レジストシフトとは、エクスプレッションペダルの右フットスイッチを使って、設定したレジストレーションナンバーをコントロールする機能です。
レジストシフトの設定は、次の3つの種類から選びます。

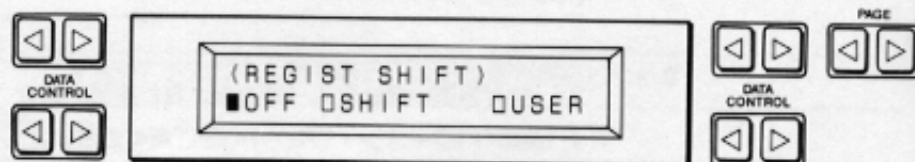
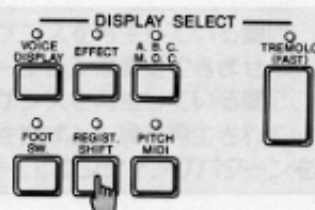
- オフ : 右フットスイッチを使っても、レジストシフトの機能が働かないように設定します。
- シフトモード : 右フットスイッチを押すごとに、番号順 (①~⑧) にレジストレーションメモリーナンバーを呼び出すことができます。
- ユーザーモード : 右フットスイッチを押すごとに、編集した番号順にレジストレーションナンバーを呼び出します。18まで編集・登録ができます。

操作方法

レジストシフトの設定として、「SHIFT」(シフト)モードと「USER」(ユーザー)モードの設定を例にして説明します。また、「USER」(ユーザー)モードは、呼び出す順番を「7」「2」に設定します。

■シフトモード

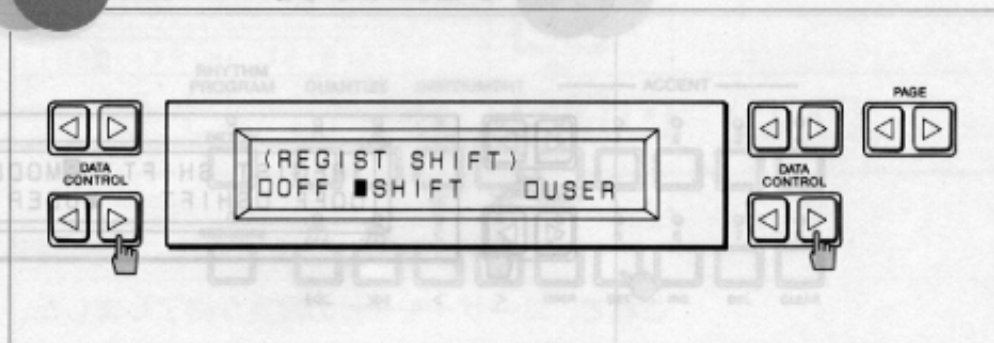
(REGIST SHIFT)(レジストシフト)ボタンを押します。



●ディスプレイには、レジストシフトのモードが表示されます。

2

下段のデータコントロールボタン(▷)を押して、シフトモードを「■」にします。



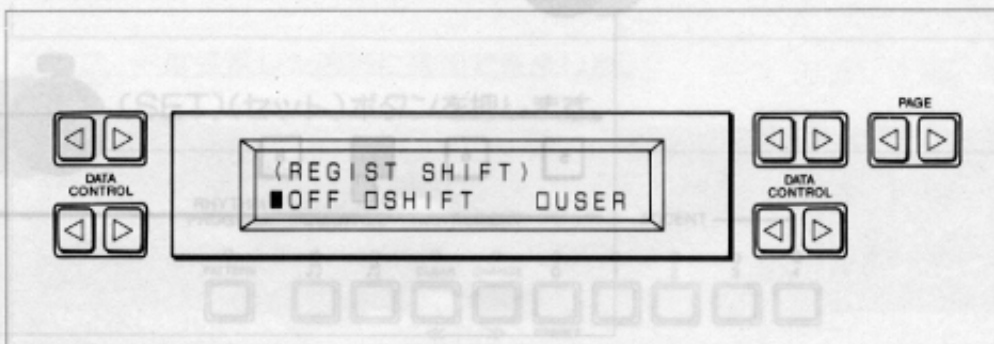
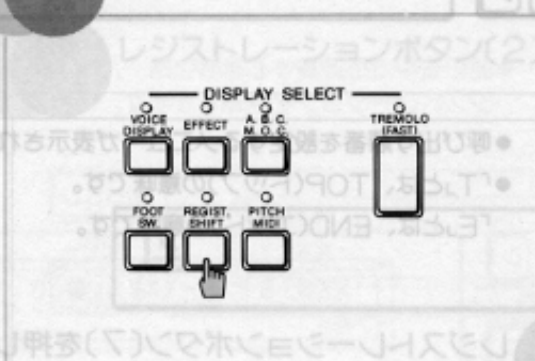
これで、シフトモードが設定できました。

- ユーザーモードを設定する場合は、次の操作へ移ります。
- 他のモードを選択したい場合は、データコントロールボタン(◁)(▷)を押して、選択したい項目を「■」にします。

■ユーザーモード

1

(REGIST SHIFT)(レジストシフト)ボタンを押します。

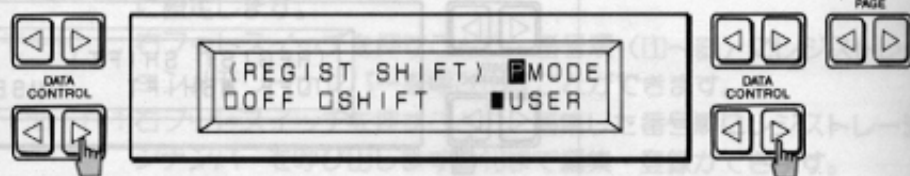


- ティスプレイには、レジストシフトのモードが表示されます。

代能説明

2

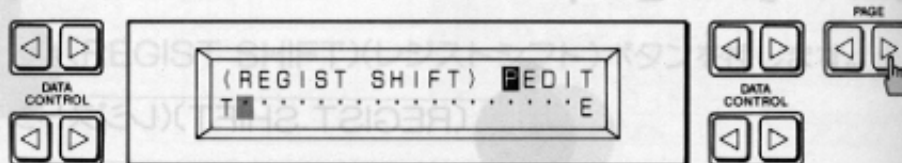
下段のデータコントロールボタン(▷)を押して、ユーザーモードを「■」にします。



- 次のページで、ユーザーモードの内容を設定します。

3

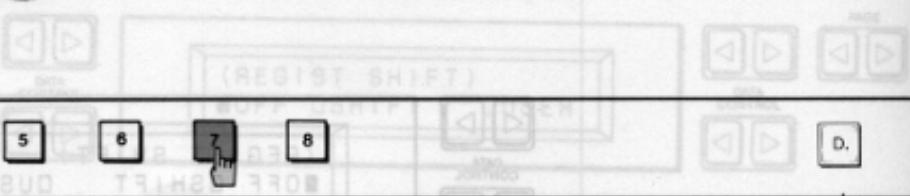
ページボタン(▷)を押して、「EDIT」のページを表示します。



- 呼び出す順番を設定するメニューが表示されます。
- 「T」とは、TOP(トップ)の意味です。
- 「E」とは、END(エンド)の意味です。

4

レジストレーションボタン(7)を押します。

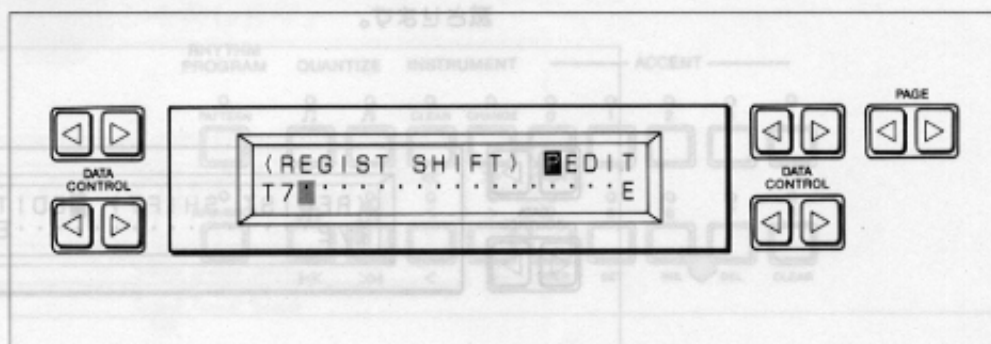
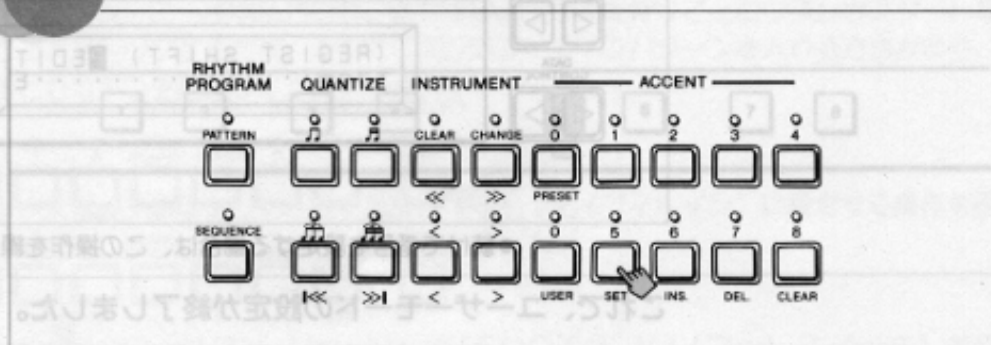


◆ディスプレイには、レジストシフトのモードが表示されます。

。おまけの表示は、ユーザーのイメージに、おまけの表示で。

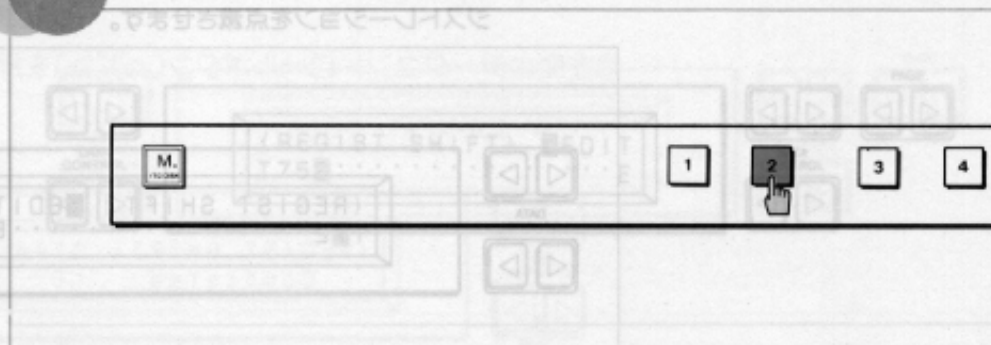
5

(SET)(セット)ボタンを押します。



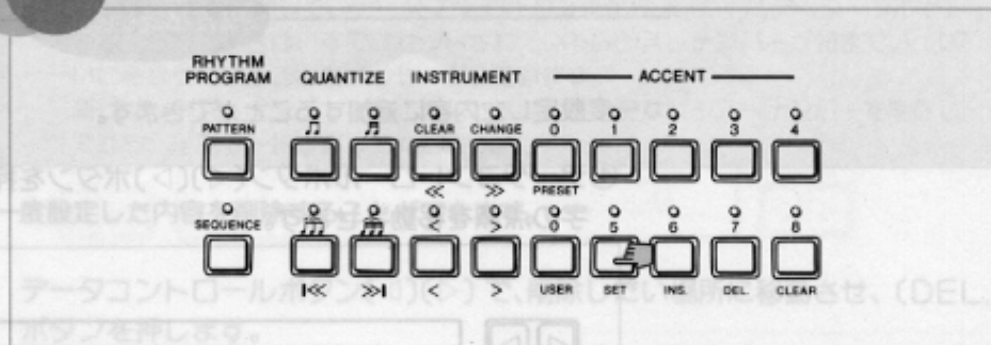
6

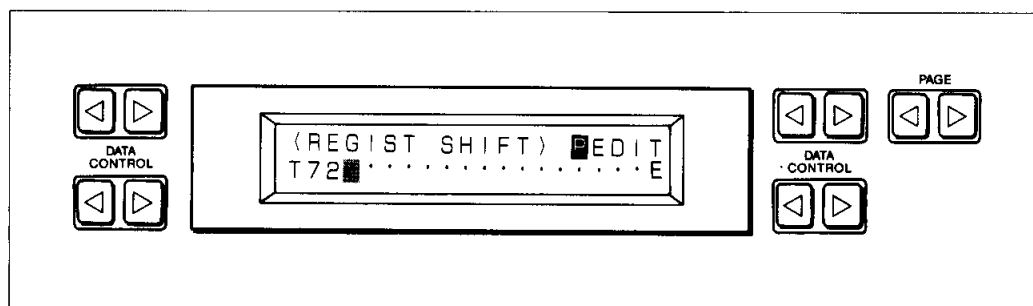
レジストレーションボタン(2)を押します。



7

(SET)(セット)ボタンを押します。

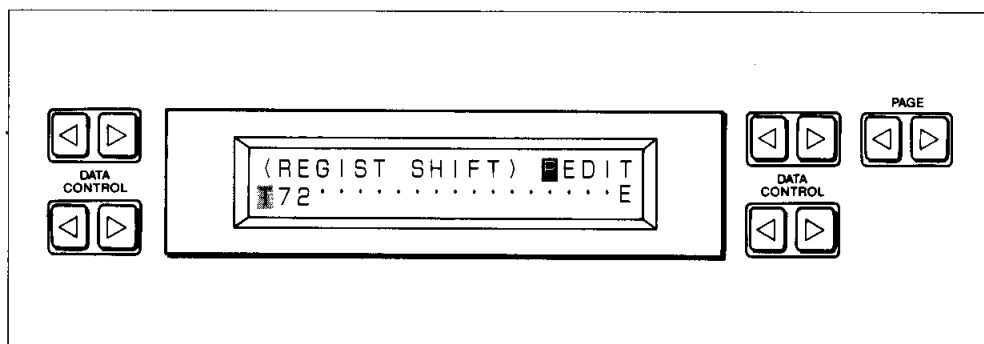




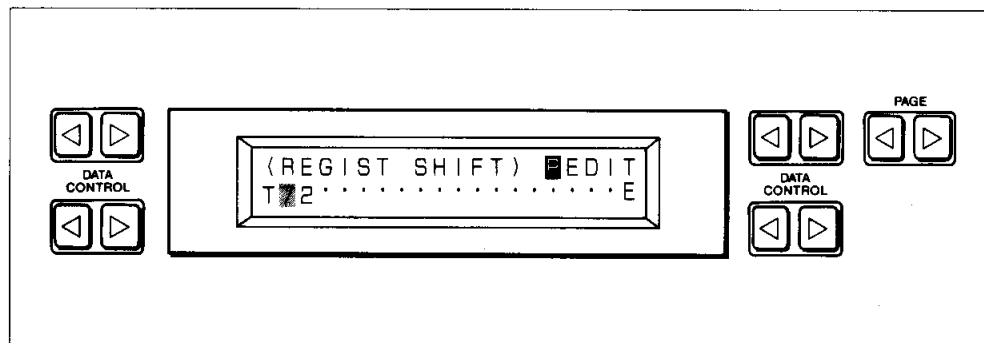
- 続けて番号を設定する場合は、この操作を繰り返します。

これで、ユーザーモードの設定が終了しました。

- 曲をはじめてから演奏する場合には、パネルの(I<<)ボタンを押して、「T」を点滅させます。



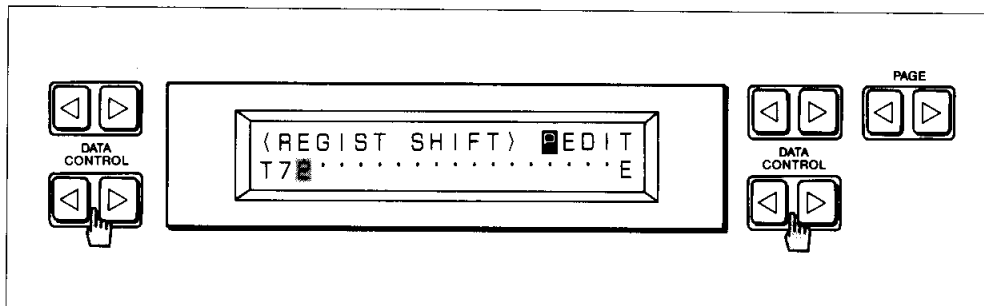
- 曲の途中から演奏する場合には、パネルの(<)ボタンを押して、はじめたいレジストレーションを点滅させます。



こんなこともできる

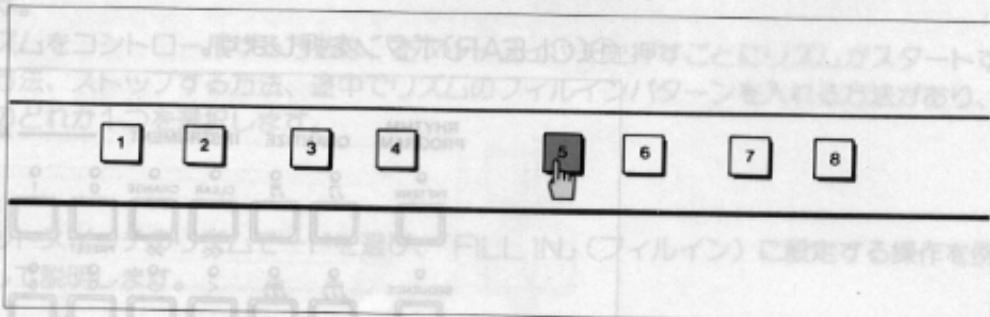
- 一度設定した内容に追加することができます。

①データコントロールボタン(<)(>)ボタンを押して、挿入したい場所に頭文字の点滅を移動させます。

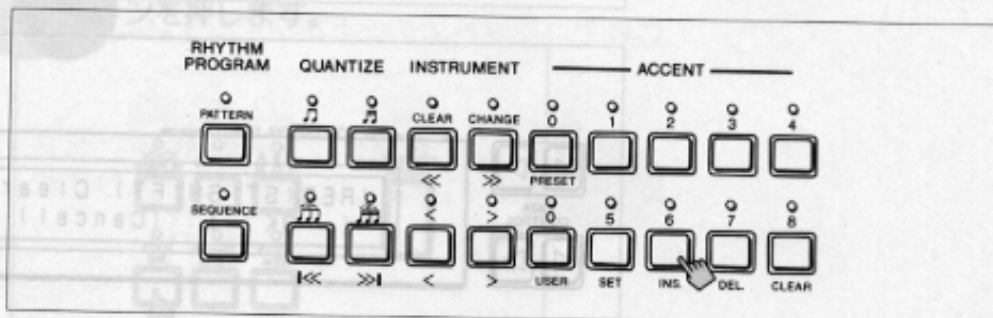


リズム(ストップ/エンディング/フットスイッチ)

②追加したいレジストレーションボタンを押します。



③(INS.)ボタンを押します。



これで、一度設定した内容に追加できました。

注意

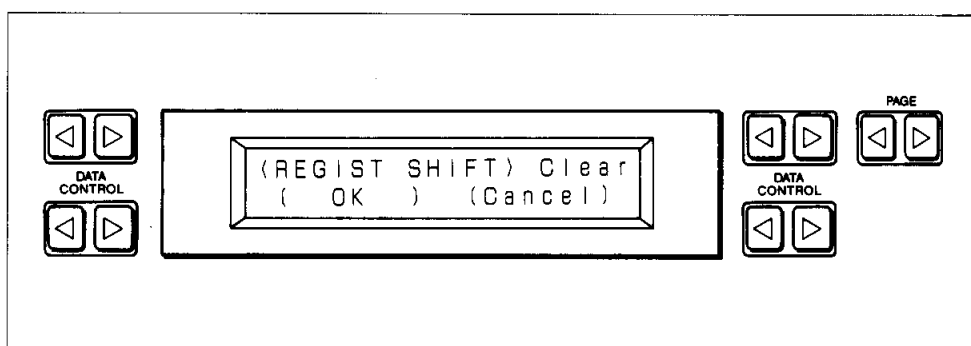
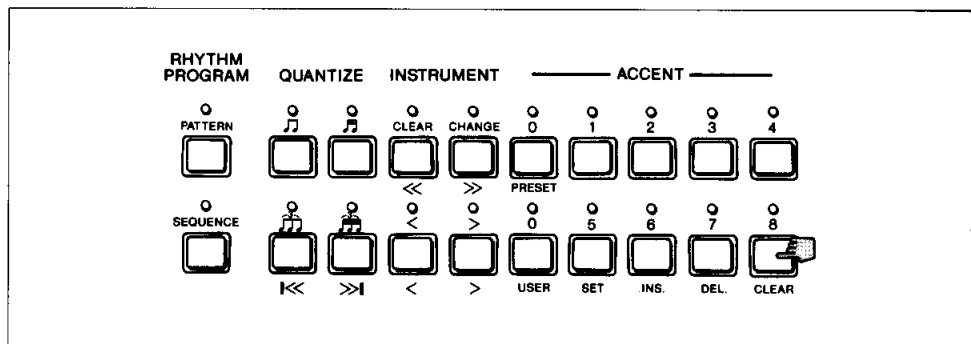
- (INS.)ボタンを押して、ディスプレイに「Data Full...!!」(データ・フル!!)と表示された場合は、すでにセットされているレジストナンバーが18までいっぱいになっていることをメッセージしています。
新しくレジストナンバーを加えたいときは、不必要なレジストナンバーを削除してから、インサートし直してください。

○一度設定した内容を削除することができます。

データコントロールボタン(◀)(▶)で、削除したい場所に移動させ、(DEL.)ボタンを押します。

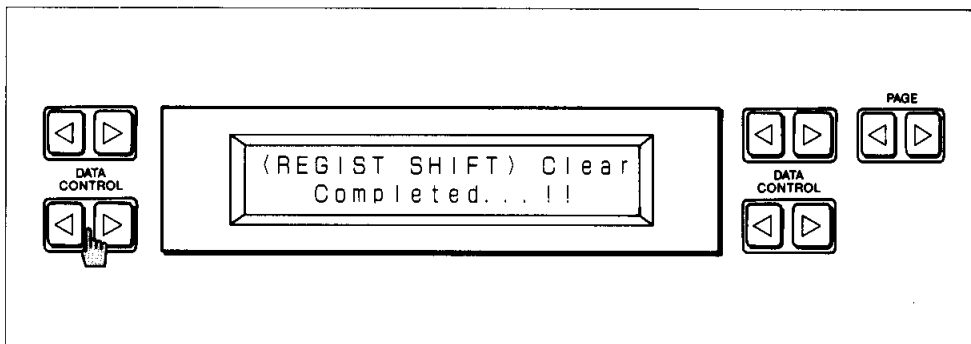
○一度設定したレジストシフトの内容をすべて消すことができます。

①〔CLEAR〕ボタンを押します。



●ディスプレイには、設定を消してよいかどうかの確認メニューが表示されます。

②左側のデータコントロールボタン〔<〕〔>〕を押します。



- レジストシフトの設定が消えます。
- 設定を消したくない場合は、ここで「Cancel」の横にあるデータコントロールボタン〔>〕を押します。